

# 泉野の子

苫小牧市立泉野小学校  
生徒指導部  
第 4 号  
令和 4 年 6 月 23 日

## 「いじめの把握のためのアンケート調査」

今年度も5月下旬に全校児童を対象に「いじめの把握のためのアンケート調査」を実施しました。このアンケートは子どもたちが学校生活の中で悩んでいること、困っていることを把握し問題の解決と指導に役立てるために行っています。

### ◇アンケート結果（学校生活の中でいやな思いをしたことがあると回答した数）

1年生	5名
2年生	26名
3年生	24名
4年生	21名
5年生	9名
6年生	12名
ひかり学級	1名

全校児童の約23.5%の児童が「いやな思いをしたことがある」と回答しています。昨年度よりも少し増加しています。コロナの影響で我慢を強いられる学校生活がストレスとなっている部分があるかもしれません。いやな思いとしては…

「ひやかしゃからかい、悪口を言われる、約束を破られる」  
「仲間外れや無視をされる、避けられる、逃げられる」  
「暴力を受ける、物を取られる」

上記のように、いやな思いをしている子どもたちがいます。子どもたちの悩みも多様化してきている状況ですね。現状を把握するとともに、個々に心のケアを図っていかなくてはなりません。問題が深刻化する前に対応していかなくてはなりません。

児童が頼りとしている相談相手は、今年度も一番多かったのが「お父さんやお母さん」、次いで「先生」でした。日頃から子どもたちとの「対話」をしっかり進めていきたいですね。

### ◇各学級での指導 ～個別懇談週間の取組～

上記のような子どもたちの悩み解決に向けて、また子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めることで問題行動を未然に防ぐために、今年度も各学級担任と学級の児童一人一人が個別に懇談する機会を設定しました。

アンケートの結果を基に、悩みのある子には解決してあげられるように、今悩みがない子にはより前向きに学校生活を送れるよう日頃の行動を認め励ます言葉をかけるようにしながら、先週末までに取組を進めてきました。少しでも子どもたちの悩みを解決し、活動意欲を高める機会となったなら良いのですが…。

各家庭におかれましても、お子さんとの日々の対話を大切にしていきたいと思えます！！

なお、泉野の子と一緒に「いじめ防止対策推進法に基づく本校の取組について」の資料を配付しています。いじめの定義について、いじめ防止に向けた学校の取組についてお伝えしております。ぜひご一読していただきたいと思えます。また、裏面のチェックシートもご活用下さい。

泉野小児童会スローガン

あいさつを

元気な  
挨拶を！

「あいさつ」は大きな声で自分から！

## 保護者の皆さんへのお願い

子どもが抱えている問題を解決するためには、学校と保護者が共通理解を図り、協力して指導にあたることが大切です。場合によっては、学校から保護者の皆さんへご連絡を差し上げることもあるかと思えます。保護者の皆さんからも、何かお気づきの点がありましたら忌憚なくお知らせ願います。

---

### 保護者によるチェックシート[家庭で見せる子どものSOSのサイン]

- 1 学校の話題・友だちの話題が少なくなる。
  - 2 妹・弟をいじめるようになる。
  - 3 成績が急に下がる。
  - 4 話しかけても「ボーッ」として他の事を考えていることが多くなる。
  - 5 学校用品をなくしたり、壊したりすることが増えた。
  - 6 学校用品に落書きや破損の跡が見受けられる。
  - 7 親のお金に手を出すようになる。
  - 8 髪の毛が不自然に切られている。体に見慣れない傷・あざがある。
  - 9 投げやりで集中力が続かなくなる。
  - 10 食欲がなくなる。
  - 11 不眠が続く。または、寝ていてもうなされることが多い。
  - 12 微熱・吐き気・腹痛・頭痛を訴えることが多くなる。
  - 13 休みの日に親と外出したがらなくなる。
  - 14 言葉遣いが乱暴になる。
  - 15 表情が暗くなり、言葉数が少なくなる。
  - 16 友だちが急に遊びに来なくなる。
  - 17 ため息が多くなり、親と目を合わせるのを避けるようになる。
  - 18 今までと雰囲気の違い友だちと付き合うようになる。
  - 19 妙に暗くなったり、急にカッとなったりする。
  - 20 「引っ越ししたい」「転校したい」と言うようになる。
- 

チェックが多くなるほど、気を付ける必要があります。  
気になることがありましたら、学校にご相談ください。